

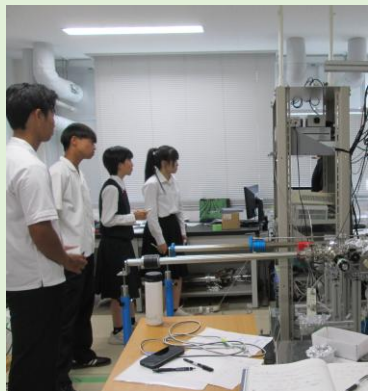
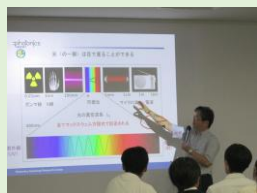
2026観一SSH通信 Vol.7

令和8年9月発行

香川県立観音寺第一高等学校

大阪大学研究室体験研修 8月3日～5日

15名が参加。3～4人のグループに分かれて4つの研究室に配属され、それぞれの研究室で実験等を行い最終日には実験結果をまとめてプレゼンしました。



川崎医科大学研究室体験研修

8月4～5日

3名の生徒が参加しました。「オオサンショウウオが医学を変える2026」をテーマに、実際に電子顕微鏡を操作して観察等を行い、最終日は観察結果の発表や質疑応答の時間がありました。

【参加生徒の感想】

貴重なものを見たり聞いたりすることができた濃い2日間だった。自分が思っていたよりも医学の分野は幅広く、面白いものであることを実感した。



自然体験合宿

令和8年8月5日（水）～8月7日（金）

毎年人気の研修で、今年は1年生34名が参加。背景の写真は今回の研修で撮影した天の川の写真です。
【見学場所】姫路科学館／兵庫県立大学西はりま天文台／兵庫県立人と自然の博物館／理化学研究所 大型放射光施設 Spring-8

【参加生徒の感想】カメラで干潟星雲の写真撮ったとき、ISOの数値と秒数を変えると写り方が変わるのが興味深かったです。／あまり見ることでできない、クジラの化石や、エミューの剥製などが、見れてとても嬉しかったし、興奮した。身近な動物の剥製で、生き物の生活環境が再現されていて、わかりやすかったです。また、博物館の構造が、楽しく見れる効果を生み出していて、わくわくしながら、見れました。私は、このような分野に元々興味があったので、とてもいい経験になりました。／体験型の博物館で、科学のブースが雲を作れたり、渦巻きを起こしたりと、その状態が起こる仕組みが分かって良かったです。／地震体験の揺れは想像以上で終わったあとに少し震えた。津波の映像も衝撃で言葉がでなかった。／いままで話したことのない人とも関わりを持って、これを機に仲良くなったので知識だけでなく人間関係も一歩前進しました。



課題研究紹介

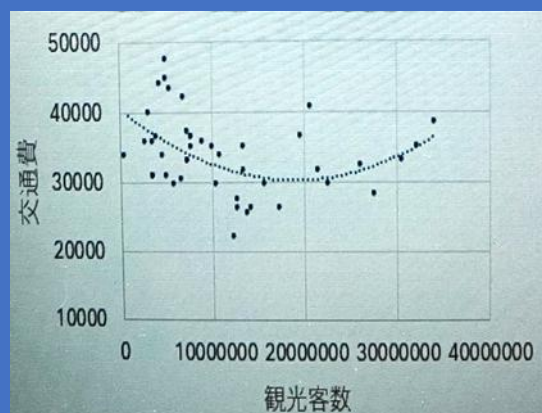
数学分野



3年生理数科では3人1組で10チームが課題研究に取り組んでいます。その研究内容についてシリーズでお伝えします。

研究テーマ「観光地に訪れる要因と傾向考察」

先行研究ではインバウンドについて研究されていたが、まずインバウンドの前に身近な国内観光客について考えることにした。仮説として、「旅行の費用が関係するのではないか」「全国的に、観光地の混雑度が大きいほど満足度が低くなる傾向があるのではないか」の2つを考えた。観光客数のデータや観光地の混雑度・星の数、交通費のデータを集めて、相関を調べた。今回は満足度を星の数、旅行にかかる費用を交通費として分析した。その結果、1つ目の仮説については、相関係数が-0.22と低く相関はないと分かった。2つ目の仮説については、相関係数が0.50～0.60程度と正の相関があり、仮説は間違っていたと分かった。またこの結果から、混雑による不満よりもそこでの体験の方が評価に影響していると結論付けた。



このSSH通信は観音寺一高のHPでも見ることができます。